

① 物理的・心理的に開かれたアクセス

【サブテーマと「テキスト」】

・ 総合診療科の敷居の低さ

「なかなか産婦人科に行く一步が踏み出せないけど、**総合診療であれば、やはり行きやすい**ということがあるので。」（Bさん、27歳）

・ 自治体の助成による経済的負担の軽減

「（市からの）助成がきいたので、そのような意味でも**気軽にちょっとやってみよう**って感じでできました。」（Eさん、25歳）

・ 継続的な関わりによる安心感

「（保健師の名前を覚えていたので）妊娠してまたこちらに来てからも、お互い分かっていて、関わりが続いて何か良かったなと思いました。（中略）この地域で子育てしていくというところで、**安心感につながった**ような感覚です。」（Eさん、25歳）

③ 健康行動の習得と実践

【サブテーマと「テキスト」】

- ・ 妊娠との関連を踏まえた健康理解による内発的動機づけ

「自分の健康が妊娠にどう影響を与えるのかとかということを知ることができて、
(中略) **自分の健康を守ることが妊娠につながるんだ**ということに、何か深くつながったような気がします。」 (Aさん、33歳)

- ・ 専門家の助言に沿った行動変化

「あと、味噌汁。日本人だったら1日3回飲んでいるものだと思って飲んでいたのですが、それは多いということでアドバイスいただいて、(中略) 1日1回にしたり、どうしてもこう、スープバックで何回か飲みたいと思う場合は、薄めに味噌汁を作って何回か飲むという感じに調整しています。」 (Eさん、25歳)